

GARMIN[®]



DĒZL™ OTR700 / LGV700

操作マニュアル

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、www.garmin.com を参照してください。

Garmin®およびGarmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

dézl™、Garmin eLog™、Garmin Express™、およびmyTrends™は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google LLC の商標です。Apple®、iPhone®およびMac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の登録商標です。BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。Love's Travel Stops®は、Love's Travel Stops & Country Stores Inc.の商標であり、microSD®と microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。Pilot Flying J®は、Pilot Travel Centers LLC およびその関連会社の商標です。PrePass®は、PrePass Safety Alliance の商標です。Tripadvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。TruckDown®は、TruckDown Info International, Inc.の商標です。Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。Windows®は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。

目次

はじめに	1
dēzl OTR700 / LGV700 デバイスの概要	1
車両への dēzl デバイスの取り付けと電源の供給	2
デバイスの電源をオンまたはオフにする	3
GPS 信号を捕捉する	3
ステータスバーアイコン	4
オンスクリーンボタンを使用する	4
音量を調整する	4
オーディオミキサーを使用する	4
画面の輝度を調整する	5
車両プロファイル	5
車両プロファイルを追加する	5
車両プロファイルの切り替え	5
トレーラー情報を変更する	5
車両プロファイルを編集する	6
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート	6
ドライバーアラートを有効または無効にする	6
赤信号カメラとスピードカメラ	7
位置の検索と保存を行う	7
検索バーを使用して位置を検索する	8
住所を検索する	8
場所検索の結果	9
地図上の場所検索結果	10
検索エリアを変更する	11
ジャンル別施設	11
トラックのジャンル別施設を検索する	11
TruckDown® ジャンル別施設 (POI) を検索する	12
カテゴリーを入力して位置を検索する	12
Foursquare	12
Tripadvisor®	12
場所内のジャンル別施設にナビゲーションする	13
検索ツール	13
交差点を検索する	13
座標を使用して位置を検索する	13
駐車場	13
トラック駐車場を検索する	13
Truck Parking Europe を使用して見つける	14
現在の場所近くの駐車場を検索する	14
指定した場所近くの駐車場を検索する	14
駐車場の色分けと記号について	14
最近検索した位置を表示する	14
最近検索した場所のリストを消去する	14
現在地情報を表示する	14
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する	15
現在地への道順を表示する	15
位置を保存する	15
位置を保存する	15
現在地を保存する	15
保存した位置を編集する	15
保存した位置にカテゴリーを割り当てる	16
保存した位置を削除する	16
ルートに従う	16
ルート	16
ナビゲーションを開始する	16
地図を使用してナビゲーションを開始する	17
帰宅する	17
地図上のルート	17
アクティブ車線案内	18
方向転換と方向指示を表示する	18
地図にルート全体を表示する	19
目的地に到着する	19
トラックルートの完了	19
目的地の近くの駐車場	20
アクティブルートを変更する	20
ルートに場所を追加する	20
ルートを形成する	20
迂回路を検索する	21
ルート探索方法を変更する	21
ナビゲーションを停止する	21
推奨ルートを利用する	21
遅延、有料道路、およびエリアを回避する	21
ルート上の交通遅延を回避する	21

有料道路を回避する	22	通話中オプションを使用する	32
有料ステッカーを回避する	22	自宅の電話番号を保存する	32
道路の回避機能	22	ペアリングした電話を削除する	32
環境ゾーンを回避する	22		
カスタム回避	22		
地図を使用する	23	[ラフィック]	32
地図ツール	24	スマートフォンを使用してラフィックデータを受信する	33
地図ツールを表示する	24	ラフィックレシーバーを使用してラフィックデータを受信する	33
この先	24	ラフィックレシーバーサブスクリプション	33
この先の場所を表示する	24	ラフィックを有効にする	33
[この先] カテゴリーをカスタマイズする	25	地図上に交通渋滞情報を表示する	34
次の都市まで	25	交通事故情報を検索する	34
この先の都市や出入口サービスの表示	25		
トリップ情報	25		
地図からトリップデータを表示する	25		
トリップ情報ページを表示する	26		
トリップ情報をリセットする	26		
進行方向の交通事故を表示する	26		
地図上に交通渋滞情報を表示する	27		
交通事故情報を検索する	27		
地図をカスタマイズする	27		
地図レイヤーをカスタマイズする	27		
地図データフィールドを変更する	27		
地図表示方法を変更する	27		
ライブサービス、ラフィック、およびスマートフォン機能	27		
スマートフォンとペアリングする	28		
Bluetooth 機能を無効にする (Android™)	28		
Bluetooth 機能を無効にする (iPhone®)	28		
Bluetooth 機能のステータスアイコン	29		
スマート通知	29		
通知を受信する	29		
通知のリストを表示する	30		
dēzl アプリを使用して住所または場所に移動する	30		
ハンズフリー通話	31		
電話をかける	31		
電話を受ける	31		
通話履歴を使用する	31		
IFTA			
燃費データを入力する	36		
燃費データを編集する	36		
管轄機関の概要を表示およびエクスポートする	37		
トリップレポートを編集およびエクスポートする	37		
エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する	37		
サービス履歴をログに記録する	37		
サービスカテゴリーを追加する	37		
サービスカテゴリーを削除する	38		
サービスカテゴリーの名前を変更する	38		
サービスの記録を削除する	38		
サービスの記録を編集する	38		
PrePass®			
ロイヤルティープログラム	38		

音声コマンド	39	近接アラート設定 45 バックアップカメラ設定 46 ディスプレイ設定 46 トラフィック設定 46 単位および時間設定 46 時間を設定する 46 言語およびキーボード設定 46 デバイスおよびプライバシー設定 47 データと設定をリセットする 47
アプリケーションを使用する	40	デバイス情報 47 E ラベルの規制およびコンプライアンス 情報の表示 47 仕様 47 デバイスを充電する 48
デバイスのマニュアルの表示	40	デバイスのメンテナンス 48 Garmin サポートセンター 48 地図やソフトウェアの更新 48 Wi-Fi ネットワークへの接続 48 Wi-Fi ネットワークの使用による地図 とソフトウェアの更新 49 Garmin Express による地図とソフト ウェアの更新 50 デバイスのお手入れ 51 外側ケースのクリーニング 51 タッチスクリーンのクリーニング 51 盗難防止 51 デバイスを再起動する 52 デバイス、マウント、吸着カップを取り 外す 52 マウントからデバイスを取り外す 52 吸着カップからマウントを取り外 す 52 フロントガラスから吸着カップを取り 外す 52 車両電源ケーブルのヒューズを交換す る 52
天気予報を表示する	40	
別の都市周辺の天気を表示する	40	
気象観測レーダーを表示する	40	
気象警報を表示する	40	
道路状況を確認する	40	
トリッププランナー	41	
トリップを計画する	41	
トリップの場所を編集および並べ替え る	41	
トリップの経路にあるアトラクション の発見	41	
トリップのルート探索オプションを変 更する	42	
保存されているトリップをナビゲーシ ョンする	42	
アクティブルートを編集および保存す る	42	
photoLive トラフィックカメラ	42	
photoLive トラフィックカメラの表示 と保存	42	
地図上に photoLive トラフィックカメ ラを表示する	43	
トラフィックカメラを保存する	43	
前のルートと目的地を表示する	43	
メディアプレイヤー	43	
マップにミュージックプレイヤーツー ルを追加する	44	
設定	44	トラブルシューティング 52 吸盤がフロントガラスに取り付けられな い 52 デバイスで衛星信号を受信できな... 53 デバイスを車両で充電できな... 53 充電しても電池の電力が長持ちしな い 53 デバイスがスマートフォンに接続されま せん 53
地図および車両設定	44	
地図を有効にする	44	
ナビゲーション設定	44	
計算モードの設定	44	
シミュレートされた場所を設定す る	45	
ワイヤレスネットワーク設定	45	
運転者支援の設定	45	

付録.....53

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する	53
データ管理	54
メモリカードについて	54
デバイスをコンピュータに接続する	54
コンピュータからデータを転送する	54
USB ケーブルを取り外す	54
GPS 信号ステータスを表示する	54
追加の地図を購入する	54
アクセサリーを購入する	55

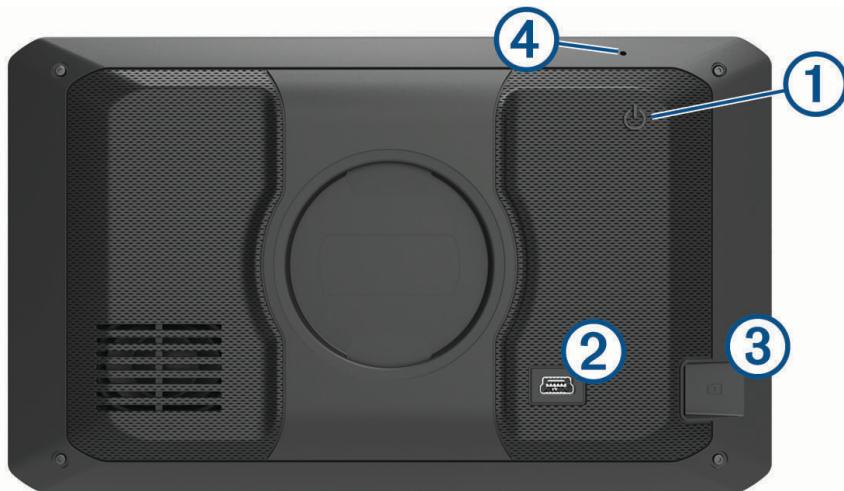
はじめに

△ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

- デバイスの地図とソフトウェアを更新します ([地図やソフトウェアの更新](#), 48 ページ)。
- 車両にデバイスを取り付け、電源に接続します ([車両への dēzl デバイスの取り付けと電源の供給](#), 2 ページ)。
- GPS 信号を捕捉します ([GPS 信号を捕捉する](#), 3 ページ)。
- 音量を調整し ([音量を調整する](#), 4 ページ)、ディスプレイの輝度を調整します ([画面の輝度を調整する](#), 5 ページ)。
- トラックの車両プロファイルを設定します ([車両プロファイルを追加する](#), 5 ページ)。
- 目的地までナビゲーションします ([ナビゲーションを開始する](#), 16 ページ)。

dēzl OTR700 / LGV700 デバイスの概要



①	電源キー
②	USB 電源およびデータポート
③	地図およびデータメモリカードスロット
④	音声コマンド / ハンズフリー通話用マイク

車両への dēzl デバイスの取り付けと電源の供給

⚠️ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- 1 車両電源ケーブル①をデバイスのUSBポートに接続します。



- 2 マウント②が吸着力アップ③にはまるまで押し込みます。
- 3 吸着力アップをフロントガラスに取り付け、レバー④をフロントガラス方向に倒します。
- 4 マウントの上部にあるタブをデバイスの裏側にあるスロットにはめ込みます。
- 5 マウントの底面をカチッと音がするまでデバイスに押し込んでください。
- 6 車両の電源ケーブルの反対側の端を、車両の電源コンセントに接続します。

デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キー①を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、**オフ**を選択します。
5秒後にメッセージが表示されます。メッセージが表示される前に電源キーを離すと、デバイスは省電力モードに移行します。

GPS信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPSレシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- デバイスの電源をオンにします。
- デバイスが衛星の位置を受信するまで待ちます。
- 必要に応じて、高層ビルや樹木から離れた、上空の開けた場所に移動します。

ステータスバーの は衛星信号の強度を表しています。バーが少なくとも半分あれば、ナビゲーションする準備ができます。

ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。アイコンを選択すると、設定変更や詳細情報の表示ができます。

	GPS 信号ステータス GPS の精度と受信した衛星情報を表示し続けます (GPS 信号ステータスを表示する, 54 ページ)。
	Bluetooth®テクノロジのステータス Bluetooth の設定を表示するときに選択します (ワイヤレスネットワーク設定, 45 ページ)。
	Wi-fi 信号強度 Wi-fi 設定を変更するときに選択します (ワイヤレスネットワーク設定, 45 ページ)。
	ハンズフリー通話に接続済み 電話をかけるときに選択します (ハンズフリー通話, 31 ページ)。
	アクティブな車両プロファイル。車両プロファイルの設定を表示するときに選択します (車両プロファイルを編集する, 6 ページ)。
	Garmin eLog™ステータス 選択して現在の ELD 情報を表示します。アイコンが青の場合、デバイスは Garmin eLog アプリケーションに接続されています。
	現在の時刻 時刻を設定するときに選択します (時間を設定する, 46 ページ)。
	バッテリー充電レベル
	dēzl アプリの接続ステータス(スマートフォンとペアリングする, 28 ページ)。
	温度 天気予報を表示するときに選択します (天気予報を表示する, 40 ページ)。

オンスクリーンボタンを使用する

オンスクリーンボタンを使用して、デバイス上のページ、メニュー、メニューーオプションを操作できます。

- ← を選択すると、前のメニュー画面に戻ります。
- を押し続けると、すばやくメインメニューに戻ります。
- ↑ または ↓ を選択すると、リストやメニューをスクロールします。
- ↑ または ↓ を押し続けるとスクロール速度が速くなります。
- ≡ を選択すると、現在の画面に対応するオプションのコンテキストベースのメニューが表示されます。

音量を調整する

1 音量を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- スライダーを使用して、音量を調整します。
- デバイスをミュート (消音) にするには、🔇 を選択します。
- チェックボックスを選択して、詳細なサウンドオプションを有効または無効にします。

オーディオミキサーを使用する

オーディオミキサーを使用して、ナビゲーションプロンプトや通話など、さまざまなタイプの音に対して音量レベルを設定できます。各タイプの音のレベルは、マスター音量に対するパーセンテージとなります。

1 音量を選択します。

2 オーディオミキサーを選択します。

3 スライダーを使用して、各タイプの音量を調節します。

画面の輝度を調整する

- 1 設定 > ディスプレイ > 輝度の順に選択します。
- 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

車両プロファイル

△ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロファイルに基づいて計算されます。有効化された車両プロファイルは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

トラックの車両プロファイルを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関して入力したその他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

車両プロファイルを追加する

車両の重量、寸法、その他の特性を含めて、車両プロファイルを追加できます。

- 1 設定 > 車両プロファイル > を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 常時接続された貨物領域があるストレートトラックを追加するには、ストレートトラックを選択します。
 - ・ トラクターまたはトラクターとトレーラーの組み合わせを追加するには、トラクターを選択します。
 - ・ バスを追加するには、バスを選択します。
- 3 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロファイルを追加した後で、プロファイルを編集して、車両識別番号やトレーラー番号など、追加の詳細情報を入力できます ([車両プロファイルを編集する](#), 6 ページ)。

車両プロファイルの切り替え

デバイスをオンにするたびに、車両プロファイルの選択を求められます。別の車両プロファイルにいつでも手動で切り替えることができます。

- 1 ステータスバーから や などの車両プロファイルアイコンを選択します。
- 2 車両プロファイルを選択します。
- 測定値や重量とともに車両プロファイル情報が表示されます。
- 3 選択を選択します。

トレーラー情報を変更する

トレーラー情報を変更する前に、トラクターの車両プロファイルを入力する必要があります ([車両プロファイルを追加する](#), 5 ページ)。

トラクターでトレーラーを変更すると、トラクター情報を変更せずに車両プロファイルのトレーラー情報を変更できます。頻繁に使用するトレーラーをすばやく切り替えられます。

- 1 設定 > 車両プロファイルを選択します。
- 2 トレーラーと使用するトラクターの車両プロファイルを選択します。
- 3 を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 最近のトレーラー構成を使用するには、リストからトレーラー構成を選択します。
 - ・ 新しいトレーラー構成を入力するには、新しい構成を選択し、トレーラー情報を入力します。

車両プロファイルを編集する

車両プロファイルを編集して、車両情報を変更したり、新しい車両プロファイルに車両識別番号、トレーラー番号、オドメーター測定値などの詳細情報を追加できます。車両プロファイルの名前を変更したり削除したりすることができます。

1 設定 > 車両プロファイルを選択します。

2 編集する車両プロファイルを選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 車両プロファイル情報を編集するには、を選択し、編集するフィールドを選択します。
- 車両プロファイルの名前を変更するには、 > > プロファイル名の変更を選択します。
- 車両プロファイルを削除するには、 > > 削除を選択します。

ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

△ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garmin®は、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

学校: デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度(ある場合)を表示します。

制限速度超過: 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

制限速度変更: デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

一方通行を逆走しています: 一方通行を逆走している場合、デバイスはメッセージを再生し、全画面の警告を表示します。一方通行路を離れるか走行方向を正しくするまで、画面の縁が赤色で表示され、アラートが画面上部に表示されたままになります。

踏切: デバイスが通知音を再生し、この先の踏切を示します。

動物出没: デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

カーブ: デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

渋滞: 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります([\[トラフィック\]](#), 32 ページ)。

休憩の計画: 長時間運転し続けていると、デバイスが通知音を再生し、この先の休憩場所を提案します。

トラック走行禁止: トラックの走行が禁止されている道路に接近すると、デバイスは通知音を再生します。

接地の危険あり: 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

つづら折れ: つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

道幅減少: 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

急な下り坂: 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

州および国の境界: 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

1 設定 > 安全運転支援 > ドライバーアラートの順に選択します。

2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

赤信号カメラとスピードカメラ

注記

Garmin は、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

注：この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、dēzl アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、ライブの赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ ソフトウェア (garmin.com/express) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで目的地検索を選択します。

- デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、 検索を選択します (検索バーを使用して位置を検索する, 8 ページ)。
- 住所を検索するには、アドレスを選択します (住所を検索する, 8 ページ)。
- カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、カテゴリーを選択します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 12 ページ)。
- 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアの横にある📍を選択します (検索エリアを変更する, 11 ページ)。
- 保存済み位置情報を表示および編集するには、保存済みを選択します (位置を保存する, 15 ページ)。
- 検索結果から最近選択した場所を表示するには、最近表示した項目を選択します。
- トラックストップやサービスを検索するには、カテゴリー > トラッキングを選択します (トラックのジャンル別施設を検索する, 11 ページ)。
- Foursquare® のジャンル別施設を参照および検索するには、Foursquare® (Foursquare のジャンル別施設を検索する, 12 ページ)。
- 特定の地理座標に移動するには、座標を選択します (座標を使用して位置を検索する, 13 ページ)。

検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで **検索**を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
 - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
 - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
 - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
 - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
 - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
 - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 アドレスを選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

場所検索の結果

デフォルトでは、場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。



①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
② ⓘ	選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
③ ⚙	選択して、場所の近くの駐車場を検索します。 注：この機能は、車両プロファイルを使用している場合にのみ利用できます。
④ ⇧	選択して、場所への代替ルートを表示します。
⑤ Go!	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑥ 🗺	選択して、検索結果を地図上に表示します。

地図上の場所検索結果

場所検索の結果をリストではなく地図に表示できます。

場所検索の結果から、を選択します。最も近い場所が地図の中心に表示され、選択した場所の基本情報が地図の下部に表示されます。

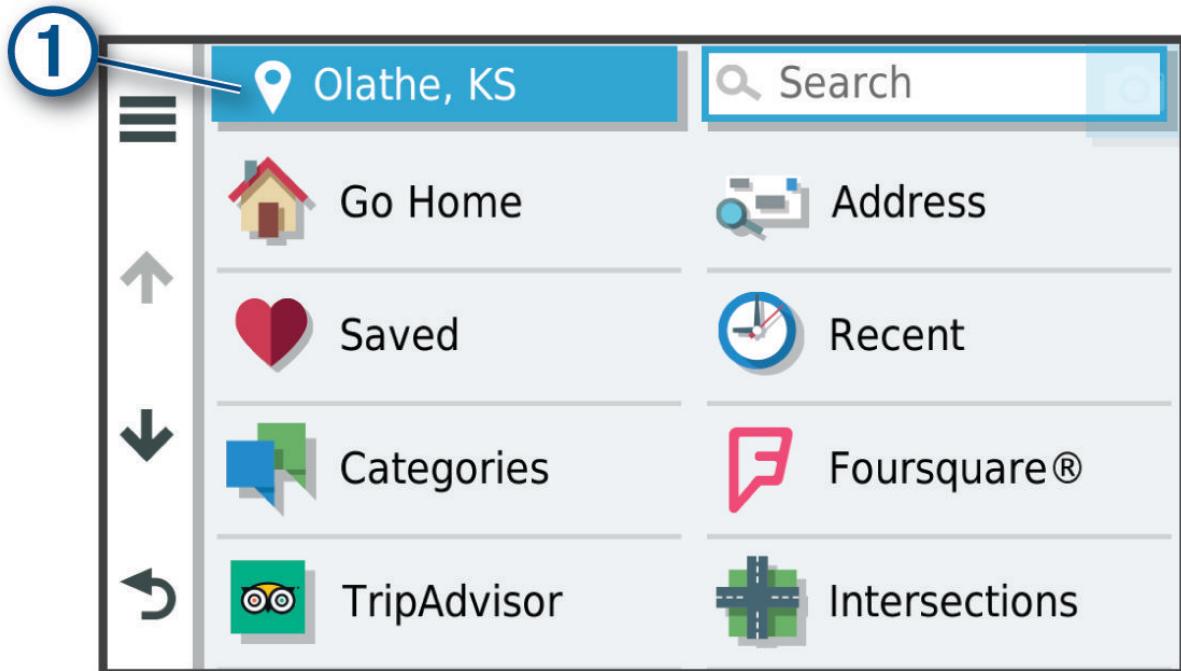


①	地図をドラッグして、追加の検索結果を表示します。
②	追加の検索結果。選択して、別の場所を表示します。
③	選択した場所の概要。選択して、選択した場所に関する詳細情報を表示します。
④ Go!	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。
⑤	選択して、検索結果をリストに表示します。

検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリアの横にある を選択します ①。



- 3 検索エリアを選択します。

- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアが の横に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

トラックのジャンル別施設を検索する

デバイスにロードされた詳細地図には、トラックストップ、サービスエリア、計量場所など、トラックのジャンル別施設が含まれています。

目的地検索 > カテゴリー > トラッキングの順に選択します。

TruckDown® ジャンル別施設 (POI) を検索する

TruckDown ディレクトリでは、トラック修理場、タイヤ販売業者など、トラック関連企業が一覧表示されます。TruckDown ディレクトリを利用できない地域もあります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ トラックと互換性があるジャンル別施設を検索するには、**Truck Locations** を選択します。
 - ・ **Truck Services** を選択して、トラック向けのサービスの場所を検索します。
- 3 カテゴリーを選択します。
- 4 必要な場合は、施設とブランドでフィルタリングを選択し、1つ以上の施設を選択して、保存を選択します。
注：このオプションは、トラックストップにのみ利用できます。
- 5 目的地を選択します。

カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって4か所を含むクリックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 画面右側のクリックサーチリストから、目的地を選択します。
クリックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
 - ・ 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。

目的地検索 > Foursquare® の順に選択します。

Foursquare の場所の詳細を表示する

Foursquare 位置情報とユーザー評価を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2 **i** を選択します。

Tripadvisor®

デバイスには Tripadvisor ジャンル別施設および評価が登録されています。Tripadvisor 評価は、自動的に該当するジャンル別施設リストの検索結果に表示されます。近くの Tripadvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えすることもできます。

Tripadvisor ジャンル別施設 (POI) を検索する

- 1 目的地検索 > TripAdvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
そのカテゴリーに該当する、近くの Tripadvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、結果を並べ替えるを選択します（オプション）。

場所内のジャンル別施設にナビゲーションする

注：この機能は、すべての地域またはすべての製品モデルで利用できるわけではありません。

ショッピングモール内のストアまたは空港の特定のターミナルなど、大規模な場所の中にあるジャンル別施設 (POI) へのルートを作成できます。

- 1 目的地検索 > 検索の順に選択します。
- 2 会場の名前を入力し、Qを選択します。
- 3 会場を選択し、①を選択します。
- 4 この場所を詳細に調査するを選択し、レストラン、レンタカー、ターミナルなどのカテゴリーを選択して会場内の場所を表示します。
- 5 POIを選択し、Go!を選択します。

デバイスは、POI の周辺の駐車場または場所までのルートを作成します。目的地に到着すると、推奨の駐車場がチェックカーフラッグで示されます。ラベルの付いたポイントは、場所内にある POI の位置を示します。

検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

交差点を検索する

2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 目的地検索 > 座標を選択します。
- 2 必要に応じて、📍を選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図に表示を選択します。

駐車場

dēzl デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

トラック駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > Truck Locations > 駐車場を選択します。
- 2 必要に応じて、大規模のみを選択して、駐車場の規模で場所をフィルタリングします。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 Go!を選択します。

Truck Parking Europe を使用して見つける

- 1 目的地検索 > Truck Parking Europe の順に選択します。
- 2 必要に応じて、施設とブランドでフィルタリングを選択し、1つ以上の属性を選択して検索を選択します。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 Go!を選択します。

現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します(オプション)。
注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 Go!を選択します。

指定した場所近くの駐車場を検索する

注： この機能は、車両プロファイルを使用している場合にのみ利用できます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 位置情報を検索します。
- 3 位置検索結果から位置を選択します。
- 4 Pを選択します。
選択した場所の近くにある駐車場のリストが表示されます。
- 5 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します(オプション)。
注： 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 6 駐車場を選択します。
- 7 Go!を選択します。

駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ(路上またはパーキングロット)、関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、を選択します。

最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の50件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

現在地情報を表示する

[現在地の確認] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に110番や119番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[現在地の確認] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

1 地図で、車両を選択します。

2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

注：トラックの車両プロファイルがアクティブなとき、ガソリンスタンドの代わりにトラックトップのオプションが表示されます。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

3 位置を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- その場所までのナビゲーションが開始するには、Go!を選択します。

- 電話番号や場所に関する他の詳細を表示するには、**i**を選択します。

現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

1 地図で、車両を選択します。

2 > 現在地までの道順の順に選択します。

3 始点を選択します。

4 選択を選択します。

位置を保存する

位置を保存する

1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 12 ページ)。

2 検索結果から位置を選択します。

3 **i** > 保存を選択します。

4 名前を入力し、完了を選択します。

現在地を保存する

1 地図で、車両アイコンを選択します。

2 保存を選択します。

3 名前を入力し、完了を選択します。

4 OKを選択します。

保存した位置を編集する

1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。

2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。

3 位置を選択します。

4 **i**を選択します。

5 > 編集を選択します。

6 次の中からオプションを選択します。

- 名前を選択します。

- 電話番号を選択します。

- カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。

- 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。

7 情報を編集します。

8 完了を選択します。

保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を12件以上保存すると、カテゴリーが[保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 目的地検索>保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 ①を選択します。
- 4 ≡>編集>カテゴリーの順に選択します。
- 5 1つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 完了を選択します。

保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索>保存済みの順に選択します。
- 2 ≡>保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

ルートに従う

ルート

ルートとは、現在地から1つ以上の目的地までの経路のことです。

- ・デバイスは、ルート計算モード(ルート探索方法を変更する, 21ページ)や回避(遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 21ページ)などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- ・ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます(ナビゲーションを開始する, 16ページ)。
- ・使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます(ルートを形成する, 20ページ)。
- ・ルートに複数の目的地を追加できます(ルートに場所を追加する, 20ページ)。

ナビゲーションを開始する

- 1 目的地検索を選択し、場所を検索します(位置の検索と保存を行う, 7ページ)。
- 2 位置を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、Go!を選択します。
 - ・代替ルートを指定するには、▼を選択し、ルートを選択します。
地図の右側に代替ルートが表示されます。
 - ・ルートの経路を編集するには、▼>ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します(ルートを形成する, 20ページ)。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します(地図上のルート, 17ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます(ルートに場所を追加する, 20ページ)。

地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図をドラッグおよび拡大 / 縮小して、検索する範囲を表示します。
- 3 必要な場合は、を選択して、表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングします。地図上に位置マーカー( または青いドット)が表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 位置マーカーを選択します。
 - ・ ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。
- 5 Go!を選択します。

帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

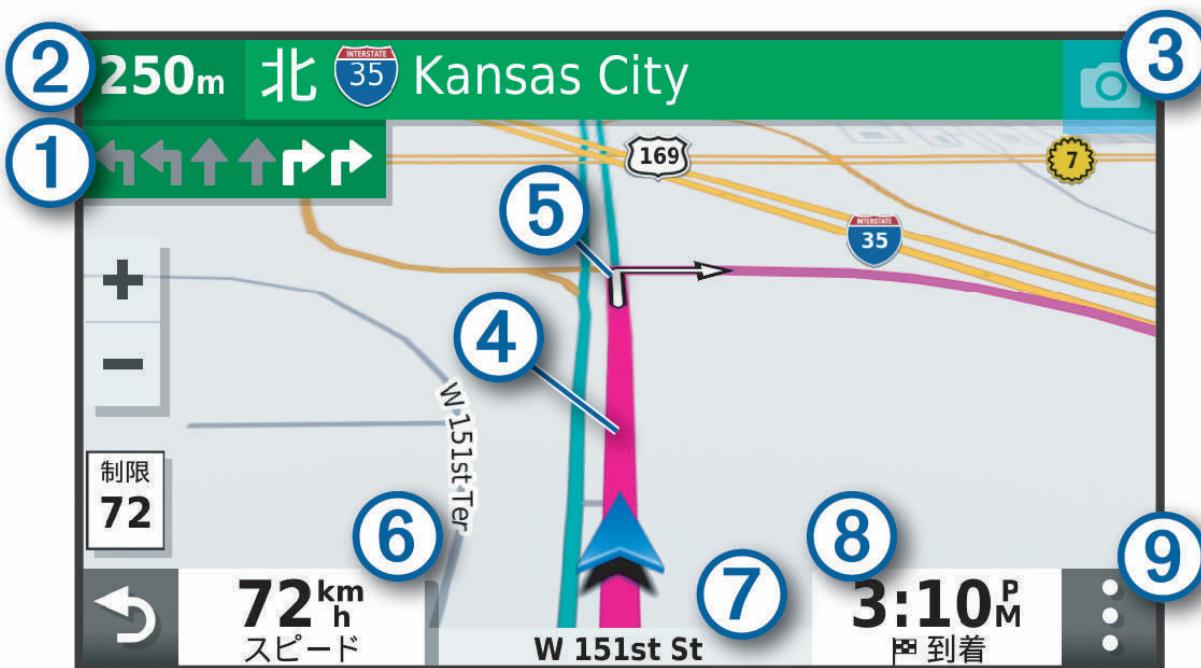
- 1 目的地検索 >  > 自宅登録の順に選択します。
- 2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

自宅の場所を編集する

- 1 目的地検索 >  > 自宅登録の順に選択します。
- 2 自宅の場所を入力します。

地図上のルート

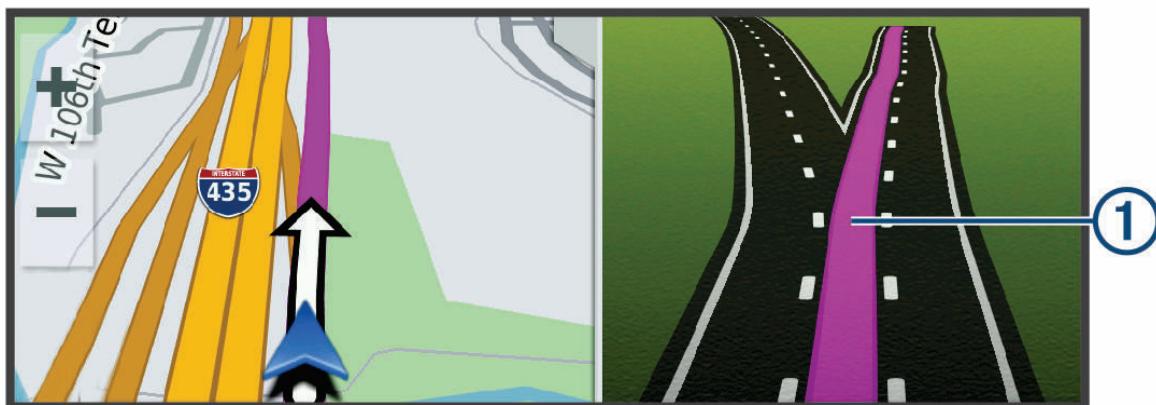
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



①	ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
②	次のアクションまでの距離。
③	次のアクションに関連する通りや出口の名前。
④	地図上に強調表示されたルート。
⑤	ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
⑥	車速。
⑦	走行中の道路の名前。
⑧	到着予想時刻。 ヒント：このフィールドをタッチして表示情報を変更できます（地図データフィールドを変更する、27ページ）。
⑨	地図ツール。ルートとその周辺の詳細情報を表示するためのツールを提供します。

アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①は方向転換に適した車線を示します。



方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、⋮ > 方向転換を選択します。地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します（オプション）。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 []を選択します。

目的地に到着する

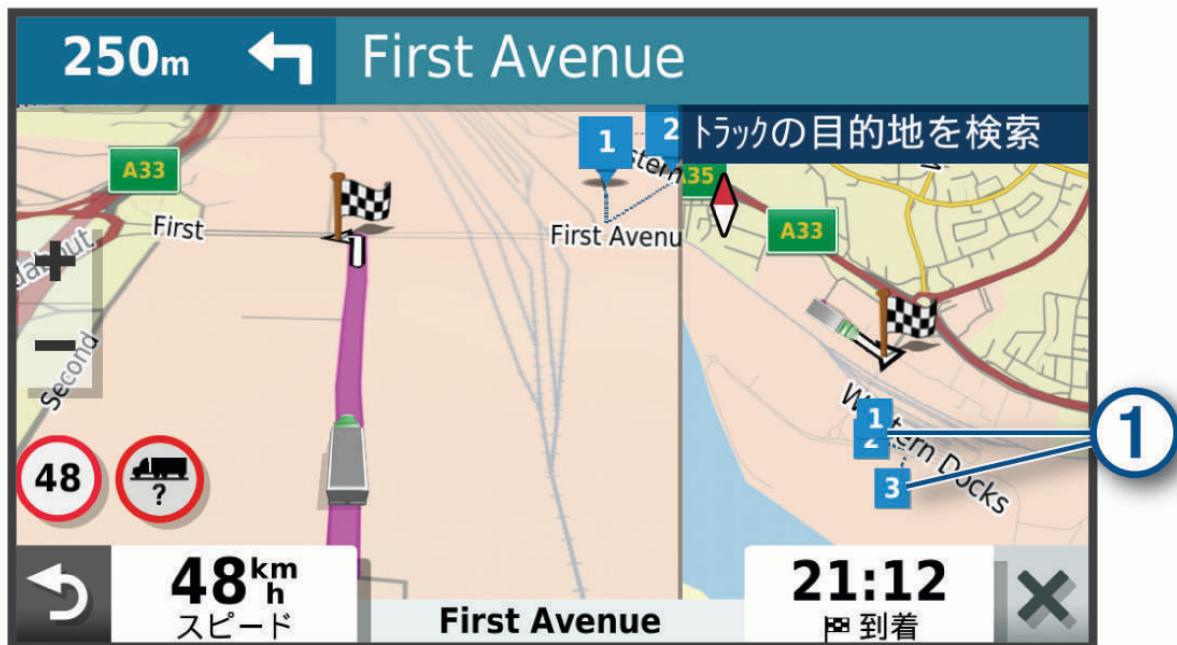
目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- []は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- 一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。さらに表示を選択すると、推奨駐車場の全リストを表示できます（[目的地の近くの駐車場](#), 20 ページ）。
- トラックの車両プロフィールを使用しているときに目的地に近づくと、デバイスは自動的にトラックの目的地（荷積みドックやトラック駐車場など）を検索するように指示します。マップ上の推奨ポイントを選択してから、Go!を選択して目的地まで移動できます。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

トラックルートの完了

トラックの目的地に近づくと、駐車場や荷積みドックなど、トラックの人気の目的地を見つけるのに役立つ地図ツールが表示されます。

1 番号付きトラック目的地①を選択します。



2 Go!を選択します。

目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。

注：この機能は、車両プロフィールを使用している場合にのみ使用してください。トラックの車両プロフィールを使用している場合は、目的地の近くにあるトラック駐車場を検索できます（[トラック駐車場を検索する, 13 ページ](#)）。

1 次の中からオプションを選択します。

- デバイスが駐車場を提案したら、さらに表示を選択して、すべての推奨駐車場を表示します。

注：任意の推奨駐車場を選択すると、ルートが自動的に更新されます。

- デバイスが駐車場を提案していない場合は、**目的地検索 > カテゴリー > 駐車場** の順に選択し、 > 目的地周辺を選択します。

2 **駐車場をフィルタリング**を選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

3 駐車場を選択し、**Go!**を選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

アクティブルートを変更する

ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります（[ナビゲーションを開始する, 16 ページ](#)）。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます（[トリップを計画する, 41 ページ](#)）。

1 地図から、 > **目的地検索**を選択します。

2 位置を検索します（[位置の検索と保存を行う, 7 ページ](#)）。

3 位置を選択します。

4 **Go!**を選択します。

5 次の中からオプションを選択します。

- ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。

- ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地を追加**を選択します。

- 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります（[ナビゲーションを開始する, 16 ページ](#)）。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

1 地図上の任意の場所を選択します。

2 **ルートを形成する**を選択します。

ヒント：を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。

3 **Go!**を選択します。

4 必要に応じて、オプションを選択します。

- ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。

- シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、**消去**を選択します。

迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で :> ルートの編集を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
 - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

ルート探索方法を変更する

- 1 設定 > ナビゲーション > **計算モード**を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
 - ・ **直行**を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。

ナビゲーションを停止する

地図で、: > 停止を選択します。

推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の位置を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイスおよびプライバシー設定, 47 ページ](#))。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

遅延、有料道路、およびエリアを回避する

ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。 [**トラフィック設定**] でのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定, 46 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、: > **トラフィック**を選択します。
- 2 代替ルートを選択します (利用可能な場合)。
- 3 Go!を選択します。

有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

1 設定 > ナビゲーションを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

注：メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。

- ・有料道路を選択します。

- ・通行料金 > 有料道路を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・有料区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。

- ・有料道路を常に回避するには、回避を選択します。

- ・有料道路を常に許可するには、許可を選択します。

4 保存を選択します。

有料ステッカーを回避する

デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれている場合は、各国で有料ステッカーが必要とされる道路を避けたり、進入を許可したりできます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

1 設定 > ナビゲーション > 通行料金 > 料金ステッカーを選択します。

2 国を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・有料ステッカーが必要とされる区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。

- ・有料ステッカーが必要とされる道路を常に回避するには、回避を選択します。

- ・有料ステッカーが必要とされる道路を常に許可するには、許可を選択します。

4 保存を選択します。

道路の回避機能

1 設定 > ナビゲーション > 回避の順に選択します。

2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、保存を選択します。

環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。

1 設定 > ナビゲーション > 環境ゾーンを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、常に確認を選択します。

- ・環境ゾーンを常に回避するには、回避を選択します。

- ・環境ゾーンを常に許可するには、許可を選択します。

3 保存を選択します。

カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

道路を回避する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避を選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避道路の追加を選択します。
- 4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。
- 5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。
- 6 完了を選択します。

エリアを回避する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避を選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 完了を選択します。

カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避を選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > 無効の順に選択します。

カスタム回避を削除する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避 >  を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ すべてのカスタム回避を削除するにはすべて選択 > 削除の順に選択します。
 - ・ カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、削除を選択します。

地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと(地図上のルート, 17ページ)やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
 - ・ 拡大または縮小するには、 または  を選択します。
 - ・ ノースアップ表示と3D表示を切り替えるには、 を選択します。
 - ・ 表示されたジャンル別施設をカテゴリー別にフィルタリングするには、 を選択します。
 - ・ ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、Go!(地図を使用してナビゲーションを開始する, 17ページ)を選択します。

地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

停止: アクティブルートのナビゲーションを停止します。

ルートの編集:迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する](#), 20 ページ)。

ミュート: デバイスの音声をミュートします。

次の都市まで: アクティブルートや高速道路沿いの、次の都市およびサービスを表示します ([次の都市まで](#), 25 ページ)。

この先: ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先](#), 24 ページ)。

Elevation: この先の高度変化を表示します。

トラフィック: ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する](#), 26 ページ)。

この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

出張データ: 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する](#), 25 ページ)。

方向転換: ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する](#), 18 ページ)。

スマートフォン: 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する](#), 32 ページ)。

天気: エリアの天気状況を表示します。

スピードカメラのレポート: スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、dēzl アプリ ([ライブサービス](#)、[トラフィック](#)、および[スマートフォン機能](#), 27 ページ)。

Garmin eLog: Garmin eLog アプリからのサービス情報の時間を表示します。運転していない間に勤務中ステータスを変更することができます。

音楽: メディアコントロールとメディア情報を表示します。

PrePass®: この先の重量検査所およびバイパス決定の通知を表示します ([PrePass®](#), 38 ページ)。

地図ツールを表示する

1 地図で : を選択します。

2 地図ツールを選択します。

地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。

3 地図ツールを使い終わったら、X を選択します。

この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。

3つのカテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

この先の場所を表示する

1 地図から : > この先を選択します。

走行中、3つのカテゴリーそれぞれに、ルートまたは走行中の道路沿いの「次の場所」が地図ツールに表示されます。停車中は、3つのカテゴリー名が地図ツールに表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
- 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

[この先] カテゴリーをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

1 地図から : > この先を選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
- カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
- カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。

5 保存を選択します。

次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [次の都市まで] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

この先の都市や出入口サービスの表示

1 地図で : > 次の都市までを選択します。

高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。

2 都市を選択します。

デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。

3 場所を選んで、Go!を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

トリップ情報

地図からトリップデータを表示する

地図から、: > 出張データを選択します。

地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示する

トリップデータ地図ツールを使うと、地図上にカスタマイズされたトリップ情報を表示できます。

- 1 地図で : > 出張データを選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。



- ・ トリップデータツールでデータフィールドを選択し ①、フィールドに表示する情報を選択します。
- ・ カスタマイズ可能な地図データフィールドを選択し ②、フィールドに表示する情報を選択します。

トリップ情報ページを表示する

トリップ情報ページには、速度が表示され、トリップに関する統計情報が表示されます。

地図で、スピードを選択します。

トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、スピードを選択します。
- 2 ≡ > フィールドのリセットの順に選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、すべて選択を選択します。
 - ・ トリップコンピュータの情報をリセットするには、全データのリセットを選択します。
 - ・ 最高速度をリセットするには、最高速度のリセットを選択します。
 - ・ オドメーターをリセットするには、トリップ B のリセットを選択します。

進行方向の交通事故を表示する

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ ([[トラフィック](#)] , 32 ページ)を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、: > トラフィックを選択します。
- 2 地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。
- 3 この交通事故を選択して、追加情報を表示します。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**アプリ > トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、**≡ > 凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**アプリ > トラフィック**を選択します。
- 2 **≡ > 事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

地図をカスタマイズする

地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 **設定 > 地図 / 車両 > 地図レイヤー**の順に選択します。
- 2 地図上に表示する各レイヤーの横にあるチェックボックスをオンにします。

地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

地図表示方法を変更する

- 1 **設定 > 地図 / 車両 > 運転地図表示**の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ **トラックアップ** を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
 - ・ **ノースアップ**を選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
 - ・ **3D**を選択すると地図が 3D 表示されます。

ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

dēzl アプリを使用すると、デバイスでスマート通知やライブ情報（ライブトラフィックデータや天気情報など）を受信することができます。

ライブトラフィックデータ: 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します（[\[トラフィック \]](#), 32 ページ）。

天気情報: リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します（[\[天気予報を表示する \]](#), 40 ページ）。

スマート通知: スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

ハンズフリー通話: デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。選択した言語が音声コマンド機能をサポートしている場合は、音声コマンドを使用して電話をかけることができます。

位置情報をデバイスに送信: スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

スマートフォンとペアリングする

dēzl デバイスをスマートフォンおよび dēzl アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#)、27 ページ）。

- 1 スマートフォンのアプリストアから、dēzl アプリをインストールします。
- 2 dēzl デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m (10 ft.) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで dēzl アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

Bluetooth 機能を無効にする（Android™）

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ すべての Bluetooth 機能を無効にするには、Bluetooth チェックボックスをオフにします。
 - ・ ハンズフリー通話のみを無効にするには、スマートフォンの名称を選択し、通話チェックボックスをオフにします。

アプリの通知を表示または非表示にする（Android）

dēzl アプリを使用して、dēzl デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

- 1 スマートフォンで dēzl アプリを開きます。
- 2  > スマート通知を選択します。
スマートフォンアプリのリストが表示されます。
- 3 アプリの横にある切り替えスイッチを選択して、アプリの通知を有効または無効にします。

Bluetooth 機能を無効にする（iPhone®）

デフォルトでは、電話をペアリングしたとき、互換性のあるすべての Bluetooth 機能が有効になっています。特定の Bluetooth 機能を無効にしても、他の機能には接続したままにすることができます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ ハンズフリー通話を無効にするには、スマートフォンの名称を選択し、通話チェックボックスをオフにします。
ヒント：ハンズフリー通話に使用するスマートフォンの名称の横に、色の付いた  が表示されます。
 - ・ dēzl アプリデータとスマートフォン通知を無効にするには、スマートフォンサービスを選択し、スマートフォンサービスチェックボックスをオフにします。
ヒント：サービスがアクティブなときは、 と  が色付きで表示されます。

通知カテゴリーを表示または非表示にする（iPhone）

カテゴリーを表示または非表示にして、デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
- 2 スマートフォンサービスを選択します。
ヒント：サービスがアクティブなときは、 と  が色付きで表示されます。
- 3 スマート通知を選択します。
- 4 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

Bluetooth 機能のステータスアイコン

ステータスアイコンは、Bluetooth 設定のペアリングされた各デバイスの横に表示されます。

設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

- グレーのアイコンは、そのデバイスの機能が無効になっているか、切断されていることを示します。
- 色の付いたアイコンは、そのデバイスの機能が接続されていてアクティブであることを示します。

	ハンズフリー通話
	スマート通知
	dēzl の機能とサービス

スマート通知

デバイスが dēzl アプリに接続されているときは、dēzl デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

注：ナビゲーションデバイスが dēzl アプリに接続した後、ナビゲーションデバイス上で通知を受信するまで数分間待つことがあります。スマート通知が接続され、アクティブになると、Bluetooth 設定に が色付きで表示されます (Bluetooth 機能のステータスアイコン, 29 ページ)。

通知を受信する

⚠️ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

この機能を使用する前に、dēzl アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ)。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、OK を選択します。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- 通知を表示するには、表示を選択します。
- 通知を聞くには、表示 > 再生の順に選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。

注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

地図の表示中に通知を受信する

⚠️ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

この機能を使用する前に、dēzl アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#), 27 ページ）。

地図を表示しているとき、画面の端にある地図ツールに新しい通知が表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

- 通知を無視するには、を選択するか、ポップアップの期限が切れるまで待ちます。
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
- 通知を表示するには、通知テキストを選択します。
- 通知を聞くには、**メッセージを再生**を選択します。
デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
- 音声コマンドを使用して通知を聞くには、**メッセージを再生**と話します。
注：このオプションが利用可能なのは、選択した言語で音声コマンド機能がサポートされていて、地図ツールにが表示されているときだけです。
- 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、**表示**を選択してからオプションを選択します。
注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

通知のリストを表示する

すべてのアクティブな通知のリストを表示できます。

1 アプリ > スマート通知の順に選択します。

通知のリストが表示されます。未読の通知は黒で表示され、以前に読まれた通知はグレーで表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 通知を表示するには、通知の説明を選択します。
- 通知を聞くには、を選択します。

デバイスは TTS (Text-to-Speech) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。

dēzl アプリを使用して住所または場所に移動する

dēzl アプリを使用して、住所、企業、または興味のある場所を検索し、ナビゲーション用に dēzl デバイスに送信できます。

1 dēzl アプリから目的地検索を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
- 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
- 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
- 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。

入力すると、候補が検索フィールドの下に表示されます。

3 検索結果の候補から選択します。

アプリで、地図上に場所が表示されます。

4 ナビゲーションを開始するには、出発を選択します。

dēzl デバイスが選択した場所へのナビゲーションを開始し、その場所が、目的地検索メニューの最近の検索に追加されます。

ハンズフリー通話

注：ほとんどの携帯電話とヘッドセットは対応しておりますが、特定の携帯電話やヘッドセットの使用は保証できません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを携帯電話に接続し、ハンズフリーデバイスとして使用できます（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#)、27 ページ）。接続されている間は、デバイスで電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

番号をダイヤルする

- 1 アプリ > スマートフォン > ダイヤルの順に選択します。
- 2 番号を入力します。
- 3 ダイヤルを選択します。

電話帳の連絡先に電話をかける

電話とデバイスが接続されるたびに電話帳が電話からデバイスにロードされます。電話帳が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 アプリ > スマートフォン > 電話帳の順に選択します。
- 2 連絡先を選択します。
- 3 通話を選択します。

施設に電話をかける

- 1 アプリ > スマートフォン > カテゴリーを参照の順に選択します。
- 2 ジャンル別施設を選択します。
- 3  > 通話の順に選択します。

音声ダイヤルを使用して電話をかける

- 1 アプリ > スマートフォン > 音声ダイヤルの順に選択します。
- 2 音声プロンプトを聞きます。
- 3 通話と発音し、通話先の名前、電話番号、または場所を音声入力します。

電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または無視を選択します。

通話履歴を使用する

電話とデバイスが接続されるたびに通話履歴が電話からデバイスにロードされます。通話履歴が利用可能になるまでに数分かかることがあります。一部の電話機ではこの機能はサポートされていません。

- 1 アプリ > スマートフォン > 通話履歴の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
通話の一覧が表示されます。最新の通話が一番上です。
- 3 通話を選択します。

通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出ると地図上に表示されます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションページを閉じた場合は、メインメニューから  を選択してもう一度開くことができます。地図から  > スマートフォンを選択することもできます。

- 電話会議を設定するには、発信者 ID を選択し **通話の追加** を選択します。

- 音声の出力先を切り替えるには、**ハンズセット** を選択します。

ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。

- ダイヤルパッドを使用するには、発信者 ID を選択し **キーパッド** を選択します。

ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。

- マイクをミュートするには、**ミュート** を選択します。

- 電話を切るには、**終了** を選択します。

自宅の電話番号を保存する

ヒント：自宅の電話番号を保存した後で、この番号を編集するには、保存した位置リストにある「自宅」を編集します（[保存した位置を編集する](#), 15 ページ）。

- アプリ > スマートフォン >  > **自宅電話番号の設定** の順に選択します。

- 電話番号を入力します。

- 完了を選択します。

自宅に電話をかける

自宅に電話をかける前に、自宅の電話番号を入力する必要があります。

アプリ > スマートフォン > **自宅へ電話** の順に選択します。

ペアリングした電話を削除する

ペアリングした電話とのペアリングを解除して、今後自動的にデバイスに接続できないようにできます。

- 設定 > ワイヤレスネットワークを選択します。

- 電話を選択して、**デバイスを解除** を選択します。

[トラフィック]

注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようデバイスを設定できます（[トラフィック設定](#), 46 ページ）。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがトラフィックデータを受信している必要があります。

- すべての製品モデルで、dēzl アプリを使用してトラフィックデータを受信できます（サブスクリプション無料）（[スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する](#), 33 ページ）。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する

デバイスは、dēzl アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のトラフィックデータを受信できます。

- 1 デバイスを dēzl アプリに接続します (ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ)。
- 2 dēzl デバイスで、設定 > トラフィックの順に選択し、トラフィックチェックボックスがオンになっていることを確認します。

トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する

注記

ヒーター付き (熱線付き) フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることができます。

トラフィックレシーバーは、利用可能な場合、無線プロードキャスト信号からトラフィックデータを受信します。無線トラフィックデータを受信するには、トラフィックに対応する電源ケーブルを使用して、デバイスを車両の電源に接続する必要があります。トラフィックレシーバーは、一部の製品モデル ([[トラフィック](#)], 32 ページ) に付属しています。。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、garmin.com/traffic を参照してください。

トラフィックに対応する電源ケーブルを使用して、デバイスを車両の電源に接続します (車両への dēzl デバイスの取り付けと電源の供給, 2 ページ)。

お使いの製品モデルにトラフィックデータが含まれている場合、デバイス付属の車両電源ケーブルはトラフィックに対応しています。

ユーザーがトラフィック情報を利用できる地域にいれば、デバイスはトラフィック情報を表示でき、交通遅延の回避に役立ちます。

トラフィックレシーバーサブスクリプション

地域のトラフィックデータサブスクリプションは、ほとんどのトラフィックレシーバーに付属しています。追加の地域のサブスクリプションをトラフィックレシーバーに追加できます。詳細については、garmin.com/traffic を参照してください。

トラフィックサブスクリプションを表示する

設定 > トラフィック > サブスクリプションの順に選択します。

購読を追加する

他の地域または国 のトラフィックサブスクリプションを購入することができます。

- 1 設定 > トラフィックの順に選択します。
- 2 サブスクリプション > を選択します。
- 3 FM トラフィックレシーバーのユニット ID を書き留めます。
- 4 サブスクリプションを購入するには、www.garmin.com/fmtraffic にアクセスして 25 文字のコードを取得してください。
- 5 デバイスで次へを選択します。
- 6 コードを入力します。
- 7 完了を選択します。

トラフィックを有効にする

トラフィックデータを有効または無効にできます。

- 1 設定 > トラフィックの順に選択します。
- 2 トラフィックチェックボックスをオンにします。

地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、**アプリ > トラフィック**を選択します。
- 2 必要に応じて、**≡ > 凡例**を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、**アプリ > トラフィック**を選択します。
- 2 **≡ > 事故**を選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

車両およびドライバーツール

休憩の計画

注記

このデバイス自体は、FMCSA (Federal Motor Carrier Safety Administration) 規則の登録証記録要件の承認された代替にはなりません。ドライバーは、連邦および州により定められたサービス時間の要件をすべて遵守する必要があります。Garmin eLog 準拠の電子ロギングデバイス (ELD) と統合すると、この Garmin eLog デバイスにより、自動車輸送業者はサービスロギングおよび休憩要件の時間を順守できます。詳細や Garmin eLog デバイスの購入については、garmin.com/elog を参照してください。

休憩の計画機能を有効にすると、デバイスは推奨休憩時間と運転時間制限の 1 時間前に通知し、ルート上の休憩場所を提案します。この機能を使用すると、労働時間を記録できるため、安全規制を遵守するのに役立ちます。

注：車両プロファイルを使用している場合は、休憩の計画機能を使用できません。

推奨の休憩をとる

休憩の時間になると、デバイスは通知し、推奨の休憩場所 POI を表示します。

推奨の休憩場所のリストから POI を選択します。

デバイスは休憩場所をルート上の次の目的地として追加します。

休憩タイマーを開始する

車両が 30 秒間で少なくとも 8 kph (5 mph) を移動すると、休憩タイマーが自動的に開始します。タイマーはいつでも手動で開始できます。

- 1 地図から、**⋮ > Break Planner** を選択します。
- 2 タイマーの開始を選択します。

休憩タイマーの一時停止とリセット

休憩タイマーは、車両が 3 分以上停止すると自動的に一時停止します。タイマーは、トラックストップでの駐車や停車など、短時間の停止のために手動で一時停止できます。運転の最後には、タイマーを手動でリセットできます。

- 1 タイマーの停止を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - ・ タイマーを一時停止するには、**一時停止**を選択します。
 - ・ タイマーを停止してリセットするには、**リセット**を選択します。

運転時間を調整する

勤務時間の記録に正確に一致するように、総運転時間を調整できます。

- 1 休憩プランナー機能を使用している間は、**総運転時間**を選択します。
- 2 総運転時間を入力します。
- 3 保存を選択します。

1日の制限運転時間を調整する

1日の制限運転時間は、地域の法的要件に対応するように調整できます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

- 1 休憩の計画機能を使用している間は、**1日の運転時間**を選択します。
- 2 地域での1日の制限運転時間を選択します。
- 3 保存を選択します。

Garmin eLog

Garmin eLog アダプターにより、自動車輸送業者はサービス時間の記録および休憩の要件を順守できます。 Garmin eLog アダプターを互換性のあるモバイルデバイスとペアリングすると、dēzl デバイスにサービス時間の情報を表示できます。 Garmin eLog アダプターを利用できない地域もあります。 詳細情報や Garmin eLog アダプターの購入については、garmin.com/elog を参照してください。

注：車両プロファイルを使用している場合は、Garmin eLog の機能を使用できません。

dēzl デバイスで Garmin eLog の機能をセットアップする

- 1 Garmin eLog アダプターを、モバイルデバイスの Garmin eLog アプリとペアリングします ([Garmin eLog デバイスをセットアップする, 35 ページ](#))。
- 2 dēzl デバイスを、互換性のあるモバイルデバイスとペアリングします ([ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ](#))。
- 3 Garmin eLog アプリを有効にして、dēzl デバイスとペアリングします ([Garmin eLog アプリを有効にして dēzl デバイスとペアリングする, 35 ページ](#))。
- 4 必要に応じて、dēzl デバイスで Garmin eLog の接続を有効にします ([dēzl デバイスで Garmin eLog の接続を有効または無効にする, 35 ページ](#))。

Garmin eLog デバイスをセットアップする

デバイスを使用するには、Garmin eLog アダプターをセットアップして Garmin eLog アプリとペアリングする必要があります。

- 1 モバイルデバイスのアプリストアから、 Garmin eLog アプリをインストールして開きます。
- 2 モバイルデバイスで、画面の指示に従って Garmin eLog システムのセットアップと設定を行います。
注：セットアップ処理が完了するまでデバイスの機能は制限されます。

Garmin eLog アプリを有効にして dēzl デバイスとペアリングする

- 1 Garmin eLog アプリで、ドライバープロファイルにログインします。
- 2 **Settings > Pair to Nearby Garmin dēzl** の順に選択します。

dēzl デバイスで Garmin eLog の接続を有効または無効にする

- 1 dēzl デバイスで、**設定 > ワイヤレスネットワーク** の順に選択します。
- 2 ペアリング対象のモバイルデバイスの名前を選択します。
- 3 **Garmin eLog アダプター** チェックボックスをオンまたはオフにします。

Garmin eLog の情報を dēzl デバイスに表示する

Garmin eLog の情報を dēzl デバイスに表示する前に、設定手順を完了する必要があります (dēzl デバイスで Garmin eLog の機能をセットアップする, 35 ページ)。

お使いの車両でドライブしていると、Garmin eLog の地図ツールに勤務中ステータスと総運転時間が表示されます。

フィールドを選択すると、残りの運転時間の概要が表示されます。

Garmin eLog の診断イベントや故障イベントを表示する

Garmin eLog デバイスが診断イベントや故障イベントを検出すると、デバイスの画面に通知が表示されます。

診断または故障の通知を選択すると、そのイベントに関する詳細が表示されます。

注：診断イベントや故障イベントに関する追加情報は、Garmin eLog アプリで表示できます。

IFTA

注：この機能を利用できない地域もあります。

この機能を使用する前に、トラックの車両プロファイルをアクティブにする必要があります。

燃料購入データや走行距離数など、International Fuel Tax Agreement (IFTA) ドキュメントに必要なデータを記録できます。

燃費データを入力する

- 1 アプリ > IFTA > ガソリンスタンド を選択します。
- 2 1ガロンあたりの燃料価格を入力します。
- 3 使用燃料フィールドを選択します。
- 4 購入した燃料の金額を入力します。
- 5 必要に応じて、燃料タイプを選択します。
 - ・ 量をリットル単位で記録するには、ガロン > リットル > 保存を選択します。
 - ・ 量をガロン単位で記録するには、リットル > ガロン > 保存を選択します。
- 6 必要に応じて、税込みチェックボックスをオンにします。
- 7 次へを選択します。
- 8 給油したガソリンスタンドを記録するオプションを選択します。
 - ・ リストから近くのガソリンスタンドを選択します。
 - ・ テキストフィールドを選択し、ガソリンスタンド名と住所を入力します。
- 9 燃料購入者を選択します。

燃費データを編集する

- 1 アプリ > IFTA > 燃料履歴の順に選択します。
- 2 必要に応じて、車両プロファイルを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 燃費記録を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 情報を編集するには、フィールドを選択します。
 - ・ 記録を削除するには、を選択します。

管轄機関の概要を表示およびエクスポートする

管轄機関の概要には、各四半期中に車両が運行した州または地方ごとにデータが一覧表示されます。管轄機関の概要を利用できない地域もあります。

- 1 アプリ > IFTA > 管轄機関の概要を選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 管轄機関の概要をエクスポートするには、≡> エクスポート > OK の順に選択します。
概要は.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

トリップレポートを編集およびエクスポートする

- 1 メインメニューからアプリ > IFTA > トリップレポートを選択します。
- 2 必要に応じて、トラックを選択します。
- 3 必要に応じて、期間（四半期）を選択します。
- 4 レポートを選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ レポートを削除するには、≡> 削除の順に選択し、チェックボックスをオンにします。
 - ・ レポートを組み合わせるには、≡> 組み合わせの順に選択し、チェックボックスをオンにします。
 - ・ ≡> エクスポート > OK の順に選択します。レポートは.csv ファイルにエクスポートされ、デバイスの Reports フォルダに保存されます。

エクスポートされた管轄機関の概要およびトリップレポートを表示する

注記

目的がわからないファイルは削除しないでください。デバイスマメモリには重要なシステムファイルが保存されています。これらのファイルを削除しないでください。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します。
- 2 コンピュータのファイルブラウザで、デバイス内蔵ストレージを参照して、Reports フォルダを開きます。
- 3 IFTA フォルダを開きます。
- 4 .csv ファイルを開きます。

サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます（「サービスカテゴリーを追加する」、37 ページ）。

- 1 アプリ > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します（省略可）。
- 6 完了を選択します。

サービスカテゴリーを追加する

- 1 アプリ > サービス履歴を選択します。
- 2 ≡> カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリーネームを入力してから、完了を選択します。

サービスカテゴリーを削除する

サービスカテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1 アプリ > サービス履歴を選択します。
- 2  > カテゴリーの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリーを選択します。
- 4 削除を選択します。

サービスカテゴリーの名前を変更する

- 1 アプリ > サービス履歴を選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリーを選択します。
- 3  > カテゴリ名変更の順に選択します。
- 4 名前を入力し、完了を選択します。

サービスの記録を削除する

- 1 アプリ > サービス履歴を選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3  > レコードの削除の順に選択します。
- 4 削除するサービスの記録を選択します。
- 5 削除を選択します。

サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

- 1 アプリ > サービス履歴を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 フィールドを選択します。
- 4 新しい情報を入力して、完了を選択します。

PrePass[®]

注記

Garmin は、PrePass アプリによって提供される情報の正確性または適時性について責任を負いません。

注：この機能を使用するには、アクティブな PrePass アカウントが必要です。

PrePass アプリを使用すると、運転者はこの先の重量検査所での商用車の安全性、認証情報、重量を確認できます。dēzl デバイス(dēzl アプリ搭載)と PrePass アプリをペアリングすると、この先の重量検査所の通知を dēzl デバイスで受信できます。

注：この機能は、米国でのみ使用できます。

ロイヤルティープログラム

dēzl デバイスでは、Love's Travel Stops[®]およびPilot Flying J Travel Centers[™]を含む米国の一帯の旅行代理店から、ロイヤルティープログラムにアクセスできます。dēzl デバイスのロイヤルティープログラムアプリを使用して、報酬ポイントの残高やその他のロイヤルティープログラム情報を確認できます。ロイヤルティープログラムの機能を有効にするには、dēzl アプリでロイヤルティープログラムアカウントにサインインします。

注：この機能は、米国でのみ使用できます。

音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[音声コマンド] メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

デバイスに話しかける際のヒント

- ・ デバイスで指定されるはつきりした音声で発音します。
- ・ OK, Garmin で各リクエストを開始します。
- ・ 音声やラジオなどの背景雑音を軽減して、デバイスがコマンドをより正確に解釈できるようにします。
- ・ 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- ・ 有益な応答が得られない場合は、リクエストを言い換えてみてください。
- ・ デバイスが要求に応答しない場合は、デバイスがスピーカーや通気口の近くに置かれていないかを確認してください。そのような場合、ノイズが発生してマイクに干渉していることがあります。

Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- ・ OK, Garmin と話しかけ、音声で要求します。
たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。
 - OK, Garmin, take me home.
 - OK, Garmin, where's the library?

到着時刻の確認

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

OK, Garmin, what time will we arrive?と話しかけます。

音声をして電話をかける

音声コマンドを使用して、ペアリングしたスマートフォンの電話帳から連絡先に電話をかけることができます。

OK, Garmin, call と話しかけて、連絡先名を言ってください。

例えば、OK, Garmin, call Mom.と言います。

音声をしてデバイス設定を変更

次のようなフレーズを発音して、音量または輝度を 0~10 の値に設定できます。

- ・ OK, Garmin, increase the volume.
- ・ OK, Garmin, set the volume to 0.
- ・ OK, Garmin, set the volume to 9.
- ・ OK, Garmin, decrease the brightness.
- ・ OK, Garmin, set the brightness to 5.

アプリケーションを使用する

デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

- 1 アプリ > 操作マニュアルの順に選択します。

マニュアルはソフトウェアの言語と同じ言語で表示されます（言語およびキーボード設定, 46 ページ）。

- 2 [Q] を選択してマニュアルを検索します（オプション）。

天気予報を表示する

この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを dēzl アプリに接続して、天気予報データを受信できます（ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ）。

- 1 アプリ > 天気を選択します。

デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。

- 2 曜日を選択します。

選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

別の都市周辺の天気を表示する

- 1 アプリ > 天気 > 現在地の順に選択します。

- 2 次の中からオプションを選択します。

- ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。

- ・ お気に入りの都市を追加するには、**都市の追加**を選択し、都市名を入力します。

気象観測レーダーを表示する

この機能を使用する前に、dēzl アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ）。

- 1 アプリ > 気象観測レーダーを選択します。

- 2 ▶を選択して、レーダー地図をアニメーション化します。

気象警報を表示する

この機能を使用する前に、dēzl アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ）。

注：この機能を利用できない地域もあります。

デバイスと共に移動中に、気象警報が地図上に表示されることがあります。また、現在地または選択した都市周辺の気象警報の地図を表示することもできます。

- 1 アプリ > 天気を選択します。

- 2 必要に応じて、都市を選択します。

- 3 ≡ > 気象警報の順に選択します。

道路状況を確認する

この機能を使用する前に、dēzl アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります（ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ）。

自分の地域、自分のルート、または別の都市の道路の天候に関連する道路状況を表示できます。

- 1 アプリ > 天気を選択します。

- 2 必要に応じて、都市を選択します。

- 3 ≡ > 道路状況を選択します。

トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、アトラクションの提案の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

トリップを計画する

1回のトリップに多数の目的地を含めることができます、少なくとも出発地と1つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地を同じにすることができます。

- 1 アプリ > ルート > 新しいトリップの順に選択します。
- 2 出発地の選択を選択します。
- 3 始点を指定し、選択を選択します。
- 4 目的地の選択を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、選択を選択します。
- 6 追加を選択して、他の場所を追加します（オプション）。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、次へ > 保存の順に選択します。
- 8 名前を入力し、完了を選択します。

トリップの場所を編集および並べ替える

- 1 アプリ > ルート > 保存されたトリップ の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
 - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
 - ・ 場所を削除するには、 を選択します。

トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、 > 順序の最適化を選択します。

トリップの経路にあるアトラクションの発見

トリップに追加できる興味深いアトラクションや人気のアトラクションが提案されます。

- 1 トリップの編集中に、 > アトラクションの提案を選択します。
- 2 アトラクションを選択すると、詳細情報が表示されます。
- 3 選択を選択してアトラクションをトリップに追加します。

トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- 1 アプリ > ルート > 保存されたトリップ の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 車両プロファイルアイコンを選択し、トリップのナビゲーション中の使用を予定している車両を選択します（オプション）。
- 4 を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
 - ・ トリップにシェイピングポイントを追加するには、ルートを形成するを選択し、画面に表示される指示に従います（ルートを形成する, 20 ページ）。
 - ・ トリップの計算モードを変更するには、ルート探索方法を選択します（ルート探索方法を変更する, 21 ページ）。

保存されているトリップをナビゲーションする

保存したトリップのナビゲーションを開始するには、デバイスのアクティブな車両プロファイルがトリップの選択された車両プロファイルと一致している必要があります（トリップのルート探索オプションを変更する, 42 ページ）。一致しない場合、トリップを開始する前に車両プロファイルを変更するように求めるメッセージがデバイスに表示されます（車両プロファイルの切り替え, 5 ページ）。

- 1 アプリ > ルート > 保存されたトリップ の順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 Go!を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、開始を選択します。

デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- 1 アプリ > ルート > 保存されたトリップ > マイケイアルートを選択します。
- 2 いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 トリップとしてルートを保存するには、保存を選択します。ナビゲーションは後で再開できます（オプション）。

photoLive トラフィックカメラ

この機能を使用する前に、dēzl アプリにデバイスを接続しておく必要があります（ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ）。

photoLive トラフィックカメラは、主要な道路および交差点の交通状況をライブ画像で提供します。

photoLive サービスを利用できない地域もあります。

photoLive トラフィックカメラの表示と保存

周辺のトラフィックカメラのライブ画像を表示できます。頻繁に訪れるエリアのトラフィックカメラを保存することもできます。

- 1 アプリ > photoLive の順に選択します。
- 2 觸れて追加を選択します。
- 3 道路を選択します。
- 4 トラフィックカメラの場所を選択します。
カメラからのライブ画像のプレビューが、カメラの設置場所の地図の横に表示されます。画像プレビューを選択すると、フルサイズの画像を表示できます。
- 5 保存選択して、カメラを保存します（オプション）。
photoLive アプリのメイン画面にカメラのサムネイル画像プレビューが追加されます。

地図上に photoLive トラフィックカメラを表示する

photoLive 地図ツールには、進行方向のトラフィックカメラが表示されます。

- 1 地図で、**:> photoLive** を選択します。

通りの進行方向にある最も近いトラフィックカメラからのライブ画像が表示されます。カメラまでの距離も表示されます。カメラを通過すると、次のカメラのライブ画像がロードされます。

- 2 その通りにカメラが見つからない場合、**カメラを探す**を選択して、周辺のトラフィックカメラを表示または保存します（オプション）。

トラフィックカメラを保存する

- 1 アプリ > **photoLive** を選択します。

- 2 觸れて追加を選択します。

- 3 道路を選択します。

- 4 交差点を選択します。

- 5 保存を選択します。

前のルートと目的地を表示する

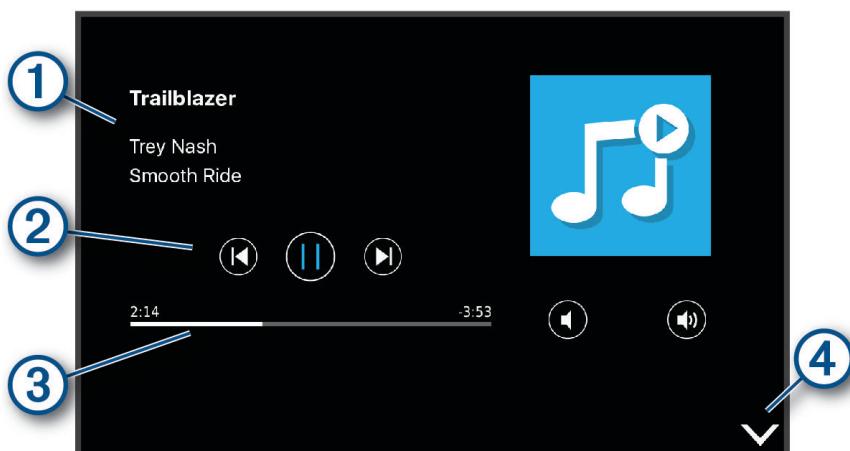
この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります（デバイスおよびプライバシー設定、47 ページ）。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

アプリ > **トリップ履歴** を選択します。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを使用すると、ペアリングしたスマートフォンのメディアアプリから、現在再生しているメディアをデバイスで制御できます。メディアプレイヤーは、メインメニューから**音楽**の順に選択して、いつでもを開くことができます。



①	タイトル、アーティスト、アルバム、ステーション、チャンネルなどの現在再生中のメディアの情報。
②	再生コントロール。コントロールは、メディアを提供するサービスに基づいて変わります。
③	現在のメディアアイテムを処理します。
④	選択してメディアプレイヤーを非表示、または縮小します。

マップにミュージックプレイヤーツールを追加する

ミュージックプレイヤーマップツールを使用すると、マップからミュージックプレイヤーをコントロールできます。

1 マップを開きます。

2 :> 音楽の順に選択します。

マップにミュージックプレイヤーのコントロールが表示されます。

設定

地図および車両設定

設定 > 地図 / 車両の順に選択します。

車両: 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

運転地図表示: 地図の表示方法を設定します。

詳細度: 地図の詳細度を設定します。 詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

地図テーマ: 地図データの色を変更します。

地図レイヤー: 地図ページに表示するデータを設定します ([地図レイヤーをカスタマイズする](#), 27 ページ)。

自動ズーム: 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。 無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

マイマップ: デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

ヒント: 追加の地図製品を購入するには、<http://buy.garmin.com> にアクセスしてください。

1 設定 > 地図 / 車両 > マイマップを選択します。

2 地図を選択します。

ナビゲーション設定

設定 > ナビゲーションの順に選択します。

計算モード: ルート計算方法を設定します。

回避: ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

カスタム回避: 特定の道路や地域を回避することができます。

有料道路: 有料道路を回避する環境設定を設定します。

通行料金: 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を設定します。

注: この機能を利用できない地域もあります。

環境ゾーン: お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

制限モード: 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

GPS シミュレーター: デバイスによる GPS 信号の受信を停止し、バッテリーを節約します。

計算モードの設定

設定 > ナビゲーション > 計算モードの順に選択します。

ルート計算モードは、道路の速度データや所定ルートでの車両加速度データに基づいています。

時間優先: 一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。

直行: 現在地から目的地までの直線距離を計算します。

シミュレートされた場所を設定する

屋内にいる場合、または衛星信号を受信していない場合、GPS シミュレータを使用してシミュレートした場所からルートを計画することができます。

- 1 設定 > ナビゲーション > GPS シミュレーターを選択します。
- 2 メインメニューで、地図表示を選択します。
- 3 地図を 2 回タップして、エリアを選択します。
この位置の住所が画面の下部に表示されます。
- 4 位置の説明を選択します。
- 5 現在地変更を選択します。

ワイヤレスネットワーク設定

ワイヤレスネットワーク設定では、Wi-Fi® ネットワーク、ペアリングされている Bluetooth デバイス、および Bluetooth 機能を管理できます。

設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

Bluetooth: Bluetooth 無線技術を有効にします。

ペアリングされているデバイスの名前: ペアリングされている Bluetooth デバイスの名前はメニューに表示されます。デバイスの名前を選択して、そのデバイスの Bluetooth 機能の設定を変更できます。

デバイスの検索: 周辺にある Bluetooth 搭載デバイスを検索します。

フレンドリーネーム: Bluetooth 無線技術で、デバイスの識別に使用されるわかりやすい名前を入力します。

Wi-Fi: Wi-Fi 無線を有効にします。

保存済みネットワーク: 保存済みネットワークを編集または削除できます。

ネットワークを検索: 近くの Wi-Fi ネットワークを検索します ([Wi-Fi ネットワークへの接続, 48 ページ](#))。

運転者支援の設定

設定 > 安全運転支援の順に選択します。

ドライバーアラート: この先のゾーンや道路状況に関するアラートの有効 / 無効を切り替えることができます ([ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 6 ページ](#))。

スピード超過アラート: 制限速度を超えている場合には、警告を発します。

ルートのプレビュー: ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

休憩の計画: 長時間運転の際に、休憩をとるよう通知し、この先のサービスエリアを表示します。休憩の通知とこの先のサービスエリアの表示は、有効 / 無効を切り替えることができます。

スピードカメラ: スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

近接アラート設定

注: 近接ポイントアラートを表示するには、カスタム POI (主要ポイント) がロードされている必要があります。

注: この機能を利用できない地域もあります。

設定 > 安全運転支援 > スピードカメラの順に選択します。

オーディオ: 近接ポイントに近づいた時に鳴るアラートのスタイルを設定します。

アラート: アラートが鳴る近接ポイントの種類を設定します。

バックアップカメラ設定

バックアップカメラ設定で、ペアリングされた Garmin バックアップカメラの管理と設定を行えます。このメニューは、ナビゲーションデバイスがワイヤレスカメラのレシーバーケーブルに接続されている場合にのみ、そのデバイスに表示されます。カメラのペアリングと設定についての詳細は、バックアップカメラのマニュアルを参照してください。garmin.com/babycam にアクセスして、Garmin バックアップカメラを購入します。

設定 > ワイヤレスカメラの順に選択し、ペアリングされたカメラを選択します。

ペアリングの解除: ペアリングされているカメラを削除します。表示する前にデバイスとケーブルを使用して再度カメラをペアリングする必要があります。

編集: ペアリングされているカメラの名前を変更できます。

ガイダンスライン: ガイダンスラインを表示または非表示にしたり、ガイダンスラインの位置を調整できます。

ディスプレイ設定

設定 > ディスプレイの順に選択します。

デザイン: 昼または夜のカラー モードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

輝度: ディスプレイの輝度を調節できます。

ディスプレイ省電力モード: バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間 を設定できます。

スクリーンショット: デバイス画面の画像を撮影できます。スクリーンショットは、デバイスの Screenshot フォルダに保存されます。

トラフィック設定

メインメニューで、設定 > トラフィックの順に選択します。

トラフィック: トラフィックを有効にします。

最適なルート: 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします ([ルート上の交通遅延を回避する](#), 21 ページ)。

交通アラート: 交通アラートを表示する交通遅延状態の程度を設定します。

単位および時間設定

単位および時間設定ページを開くには、メインメニューで、設定 > 単位 / 時間の順に選択します。

現在の時刻: デバイスの時間を設定します。

時間表示: 表示時間に 12 時間、24 時間、または UTC を選択できます。

単位: 距離の測定に使用する単位を設定します。

位置フォーマット: 地理座標に使用する座標形式とデータを設定します。

時間を設定する

1 メインメニューから時間を選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- GPS 情報を使用して自動的に時間を設定するには、自動を選択します。
- 時間を手動で設定するには、数字を上下にドラッグします。

言語およびキーボード設定

[言語およびキーボード設定] を開くには、メインメニューから設定 > 言語 / キーボードを選択します。

音声言語: 音声案内の言語を変更します。

テキスト言語: 画面に表示されるすべてのテキストを、選択された言語に変更します。

注: テキスト言語を変更しても、ユーザー入力データまたは通り名などの地図データの言語は変更されません。

キーボード言語: キーボード言語を有効にします。

デバイスおよびプライバシー設定

設定 > デバイスの順に選択します。

デバイス情報: ソフトウェアバージョン番号、ユニット ID 番号、その他の複数のソフトウェア機能についての情報表示します。

法規: 規制のマーキングおよび情報を表示します。

EULA: エンドユーザー使用許諾契約を表示します。

注: システムソフトウェアの更新または追加地図データの購入時に、この情報が必要となります。

ソフトウェアライセンス: ソフトウェアライセンス情報を表示します。

デバイスデータの報告: デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

走行履歴: 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、走行履歴機能を使用したり、myTrends 推奨ルートを使用したりできます。

リセット: 走行履歴の消去、設定のリセット、またはすべてのユーザーデータの削除を実行できます。

データと設定をリセットする

ユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、複数の方法があります。

1 設定 > デバイス > リセットを選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- 走行履歴を消去するには、**走行履歴の消去**を選択します。

このオプションを選択すると、これまでに走行した場所の全記録が削除されます。保存した位置情報やインストール済みの地図は削除されません。

- すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**設定リセット**を選択します。

このオプションを選択してもユーザーデータは削除されません。

- すべてのユーザーデータを削除して、すべての設定を工場出荷時の初期設定値にリセットするには、**データ削除と設定リセット**を選択します。

このオプションを選択すると、保存した位置情報、最近検索した場所、走行履歴など、すべてのユーザーデータが削除されます。インストール済みの地図は削除されません。

デバイス情報

E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。

2 デバイス > 法規を選択します。

仕様

動作温度範囲	-20° ~ 55°C (-4° ~ 131°F)
充電温度範囲	0° ~ 45°C (32° ~ 113°F)
無線周波数 / プロトコル	2.4 GHz @ 13 dBm
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給 別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給 (家庭やオフィスでの使用時限定)
電池タイプ	充電式リチウムイオン

デバイスを充電する

注：このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスを車両電源に接続します。
- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリにデバイスを接続します。
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの Garmin AC-DC アダプターを Garmin 販売店または www.garmin.com から購入できます。デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

デバイスのメンテナンス

Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問（FAQ）、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、support.garmin.com を参照してください。

地図やソフトウェアの更新

最適なナビゲーションエクスペリエンスを得るには、デバイスの地図とソフトウェアを最新の状態に維持する必要があります。

地図の更新では、デバイスで使用している地図の道路や場所に関する利用可能な最新の変更が取得できます。地図を最新の状態に保つと、デバイスで最近追加された場所を見つけて、より正確なルートを計算することができます。地図の更新は大きいため、完了に数時間かかる可能性があります。

ソフトウェア更新では、デバイスの機能と操作の変更と改善が取得できます。ソフトウェア更新は小さく、数分間で完了します。

2つの方法を使用してデバイスを更新できます。

- ・ デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続し、デバイス上で直接更新できます（推奨）。このオプションでは、デバイスをコンピュータに接続しないでタイミングよく更新できます。
- ・ デバイスをコンピュータに接続し、Garmin Express アプリケーションを使用して更新できます（garmin.com/express）。

Wi-Fi ネットワークへの接続

デバイスの電源を初めてオンにすると、Wi-Fi ネットワークに接続してデバイスを登録するように求められます。設定メニューを使用して、Wi-Fi ネットワークに接続することもできます。

1 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。

2 必要に応じて、Wi-Fi を選択して Wi-Fi 技術を有効にします。

3 ネットワークを検索を選択します。

デバイスで、近くの Wi-Fi ネットワークのリストが表示されます。

4 ネットワークを選択します。

5 必要に応じて、ネットワークのパスワードを入力し、完了を選択します。

デバイスがネットワークに接続し、ネットワークが保存済みネットワークのリストに追加されます。デバイスは、範囲内にあるときにこのネットワークに自動的に再接続します。

Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスが接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

- 1 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します ([Wi-Fi ネットワークへの接続, 48 ページ](#))。Wi-Fi ネットワークに接続中に、デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新を利用できる場合は、がメインメニューの設定アイコンに表示されます。
- 2 設定 > 更新の順に選択します。
デバイスは利用可能な更新がないかチェックします。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能ですが地図またはソフトウェアの下に表示されます。**
- 3 次の中からオプションを選択します。
 - ・ 利用可能なすべての更新をインストールするには、**すべてインストール**を選択します。
 - ・ 地図の更新のみをインストールするには、**地図 > すべてインストール**の順に選択します。
 - ・ ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア > すべてインストール**の順に選択します。
- 4 使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。
注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。
- 5 付属の USB ケーブルを使用し、デバイスを外部電源に接続して、**継続**を選択します ([デバイスを充電する, 48 ページ](#))。最良の結果を得るには、パワー出力が 1 A 以上の USB 充電器をお勧めします。スマートフォン、タブレット、またはポータブルメディアデバイス用の多くの USB 電源アダプタと互換性があります。
- 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

ヒント：地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、Wi-Fi または Garmin Express を使用して地図をもう一度更新する必要があります。

Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

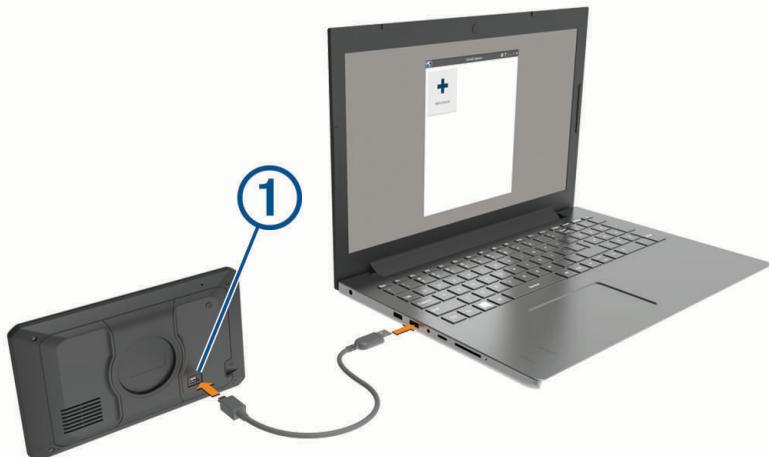
Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com /express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 51 ページ)。

- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。

- 3 mini-USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。

ケーブルの小さい方の端は dēzl デバイスの mini-USB ポート①に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 dēzl デバイスでファイル転送モードに移行するかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。

- 5 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。

Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。

- 6 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。

セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。

更新を利用できます

すべてインストール

前回の確認 : たつ今 

推定インストール時間 : 1時間-18分

[詳細の表示](#)

7 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、すべてインストールをクリックします。
- 特定の更新をインストールするには、詳細の表示をクリックし、必要な更新の横にあるインストールをクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注：地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD®デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります（[地図およびデータ用のメモリカードを挿入する](#)、53 ページ）。

8 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

1 コンピュータから garmin.com/express にアクセスします。

2 次の中からオプションを選択します。

- システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、システム要件を選択します。
- Windows コンピュータにインストールするには、ダウロード（Windows）を選択します。
- Mac コンピュータにインストールするには、ダウロード（Mac）を選択します。

3 ダウロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

デバイスのお手入れ

注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

外側ケースのクリーニング

注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース（タッチスクリーン以外）を拭きます。

2 デバイスの湿気を拭き取ります。

タッチスクリーンのクリーニング

1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

4 力を入れずに画面を布で拭きます。

盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見るところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します（garmin.com/express）。

デバイスを再起動する

デバイスが動作を停止した場合には、再起動できます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

デバイス、マウント、吸着力アップを取り外す

マウントからデバイスを取り外す

- 1 マウントのつまみまたはボタンを押してすぐに離します。
- 2 デバイスの下面を上に傾けて、デバイスをマウントから持ち上げます。

吸着力アップからマウントを取り外す

- 1 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 2 マウントのソケットから吸着力アップのボールが外れるまで力を掛けます。

フロントガラスから吸着力アップを取り外す

- 1 吸着力アップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着力アップのつまみを自分の方に引きます。

車両電源ケーブルのヒューズを交換する

注記

ヒューズを交換する場合は、小さな部品をすべてなくさないようにし、それらを正しい場所に戻してください。車両電源ケーブルを誤って取り付けると、動作しません。

車両からデバイスに充電できない場合は、車両用アダプターの先端にあるヒューズの交換が必要な場合があります。

- 1 先端①を反時計回りに回して、ロック解除します。



ヒント：先端部の取り外しには、硬貨を使用する必要がある場合があります。

- 2 先端部、銀色のチップ②、およびヒューズ③を取り外します。
- 3 1 A または 2 A など、同じ電流の新しい速断ヒューズを挿入します。
- 4 銀色のチップを先端部にはめます。
- 5 先端を押し込み、時計回りに回して、車両電源ケーブル④にロックします。

トラブルシューティング

吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます (車両への dēzl デバイスの取り付けと電源の供給, 2 ページ)。

デバイスで衛星信号を受信できない

- GPS シミュレーターの電源がオフになっていることを確認します ([ナビゲーション設定, 44 ページ](#))。
- 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- 数分間静止したままにします。

デバイスを車両で充電できない

- 車両電源ケーブルのヒューズを点検します ([車両電源ケーブルのヒューズを交換する, 52 ページ](#))。
- 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- 車両のヒューズボックスで、車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

充電しても電池の電力が長持ちしない

- 画面の輝度を下げます ([ディスプレイ設定, 46 ページ](#))。
- ディスプレイのタイムアウトを短くします ([ディスプレイ設定, 46 ページ](#))。
- 音量を下げます ([音量を調整する, 4 ページ](#))。
- 使用しないときは、Wi-Fi 無線をオフにします ([ワイヤレスネットワーク設定, 45 ページ](#))。
- 使用しないときは、デバイスを省電力モードにします。
- デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

デバイスがスマートフォンに接続されません

- 設定 > ワイヤレスネットワークの順に選択します。
[Bluetooth] オプションを有効にする必要があります。
- スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m (33 ft.) 以内の範囲に電話を持っています。
- お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。
詳細については、www.garmin.com/bluetooth を参照してください。
- ペアリングプロセスを再度完了します。
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して (ペアリングした電話を削除する, 32 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります ([ライブサービス、トライフィック、およびスマートフォン機能, 27 ページ](#))。

付録

地図およびデータ用のメモリカードを挿入する

メモリカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリカードを家電量販店から購入するか、www.garmin.com/maps にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリカードを購入できます。このデバイスは、4~32 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。32 GB を超えるメモリーカードは、デバイスを使用してフォーマットする必要があります。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します ([dēzl OTR700 / LGV700 デバイスの概要, 1 ページ](#))。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 力チッと音がするまで押し込んでください。

データ管理

ファイルをデバイスに保存できます。デバイスには、データストレージを追加できるメモリカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.4 以降に対応しています。

メモリカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア (www.garmin.com) を購入できます。メモリカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。
- 3 dēzl デバイスでファイル転送モードに切り替えるかどうかを尋ねるメッセージが表示されたら、**はい**を選択します。

コンピュータとデバイスが接続されている画像が、デバイス画面に表示されます。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します（[デバイスをコンピュータに接続する、54 ページ](#)）。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 ファイルを選択します。
- 4 [編集] > [コピー] の順に選択します。
- 5 デバイス上のフォルダを参照します。

注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。

- 6 [編集] > [貼り付け] の順に選択します。

USB ケーブルを取り外す

デバイスがリムーバブルドライブまたはボリュームとしてコンピュータに接続されている場合、データの損失を避けるため、デバイスをコンピュータから安全に取り外す必要があります。デバイスがポータブルデバイスとして Windows コンピュータに接続されている場合は、そのデバイスを安全に取り外す必要はありません。

- 1 次の手順を実行します。
 - Windows コンピュータの場合、システムトレイの [ハードウェアの安全な取り外し] アイコンを選択し、デバイスを選択します。
 - Apple® コンピュータでデバイスを選択し、[ファイル] > [取り出す] を選択します。
- 2 コンピュータからケーブルを取り外します。

GPS 信号ステータスを表示する

 を 3 秒間押し続けます。

追加の地図を購入する

- 1 garmin.com のデバイス製品ページにアクセスします。
- 2 [マップ] タブをクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従います。

アクセサリーを購入する

garmin.com/accessories にアクセスします。

support.garmin.com